

大規模増殖場開発事業調査

— 三 八 地 区 —

(要 約)

小田切明久・福田 慎作・須川 人志・大川 光則・佐藤 敦
足助 光久・沢田 満・三戸 良典・仲村 俊毅

三八地区における大規模増殖場開発事業は、昭和54年度及び昭和55年度の2ケ年調査が行なわれ、昭和56年度から事業が実施される計画になっている。

本事業は、エゾアワビを対象として、本地区における低利用の平盤、砂礫地帯に各種異型ブロック及び石材を配置した増殖場を造成し、アワビ放流種苗及び天然稚仔の保護、育成、餌料海藻の増殖と流れ藻の滞留によるアワビ稚貝の成長促進をはかり、アワビの再生産と漁獲の増加をねらいとしている。

本調査では、波浪観測などの漁場環境調査、生物分布状況調査、アワビについては浮遊幼生調査、幼稚貝の分布状況調査などを行ない、さらに試験施設を設置し、アワビなどの蛸集状況、餌料海藻の着生状況及び放流種苗の成長、移動などについて調査を実施した。

調査結果については、2ケ年分をまとめて別途報告する。

尚、本調査に際して、種々御協力いただいた階上町役場、八戸市役所及び階上、八戸市南浜の両漁業協同組合にお礼申し上げます。